

第 8 期における北本市の施策体系

第 8 期の北本市の施策体系

資料 2 - 2

【基本理念】地域で支え合い、誰もがその人らしく安心して暮らし続けることができるまち

【基本目標 1】

いきいきとその人らしく健やかに暮らせるまち

社会参加の推進の方がよいのか？

【基本目標 2】

住み慣れた地域で暮らし続けられるまち

【基本目標 3】

安心してサービスを受けられるまち

「介護人材確保・生産性向上」を施策に格上げするか？

【施策 1】介護予防・健康づくりの推進 P. 29

- (1) 一般介護予防事業等による介護予防の推進
- (2) リハビリテーション提供体制の整備
- (3) 保健事業と介護予防の一体的推進
- (4) 健診受診率の向上等による健康管理の強化

本人の健康維持の視点

【施策 2】互いに支え合う地域づくりの推進 P. 33

- (1) 地域における支え合い体制の強化
- (2) 社会参加の促進

周囲とのかかわりの視点

【施策 3】在宅医療・介護連携の推進 P. 37

- (1) 地域の医療・介護の資源の把握及び情報提供の促進
- (2) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- (3) 多職種協働の体制整備

対象者の視点

【施策 4】認知症施策の推進 P. 41

- (1) 一般介護予防事業等を活用した予防の推進
- (2) 本人の意思に沿った支援の展開
- (3) 認知症初期集中支援チームの推進
- (4) 認知症に関する理解の促進

対象者の視点

【施策 5】在宅生活を継続するための支援 P. 45

- (1) 在宅生活者への支援
- (2) 家族支援を含めた支援体制の整備促進
- (3) 要介護度の重度化や再発防止の推進

家族介護者支援の視点

【施策 6】多様なサービスの充実 P. 49

- (1) 地域資源の把握・活用
- (2) 介護予防・生活支援サービスの推進
- (3) 地域密着型サービスの整備促進

不足サービスや保険外の支援体制の整備の視点

【施策 7】介護サービスの質の向上 P. 53

- (1) 業務効率化の推進
- (2) 介護人材の確保・育成
- (3) 介護給付適正化事業

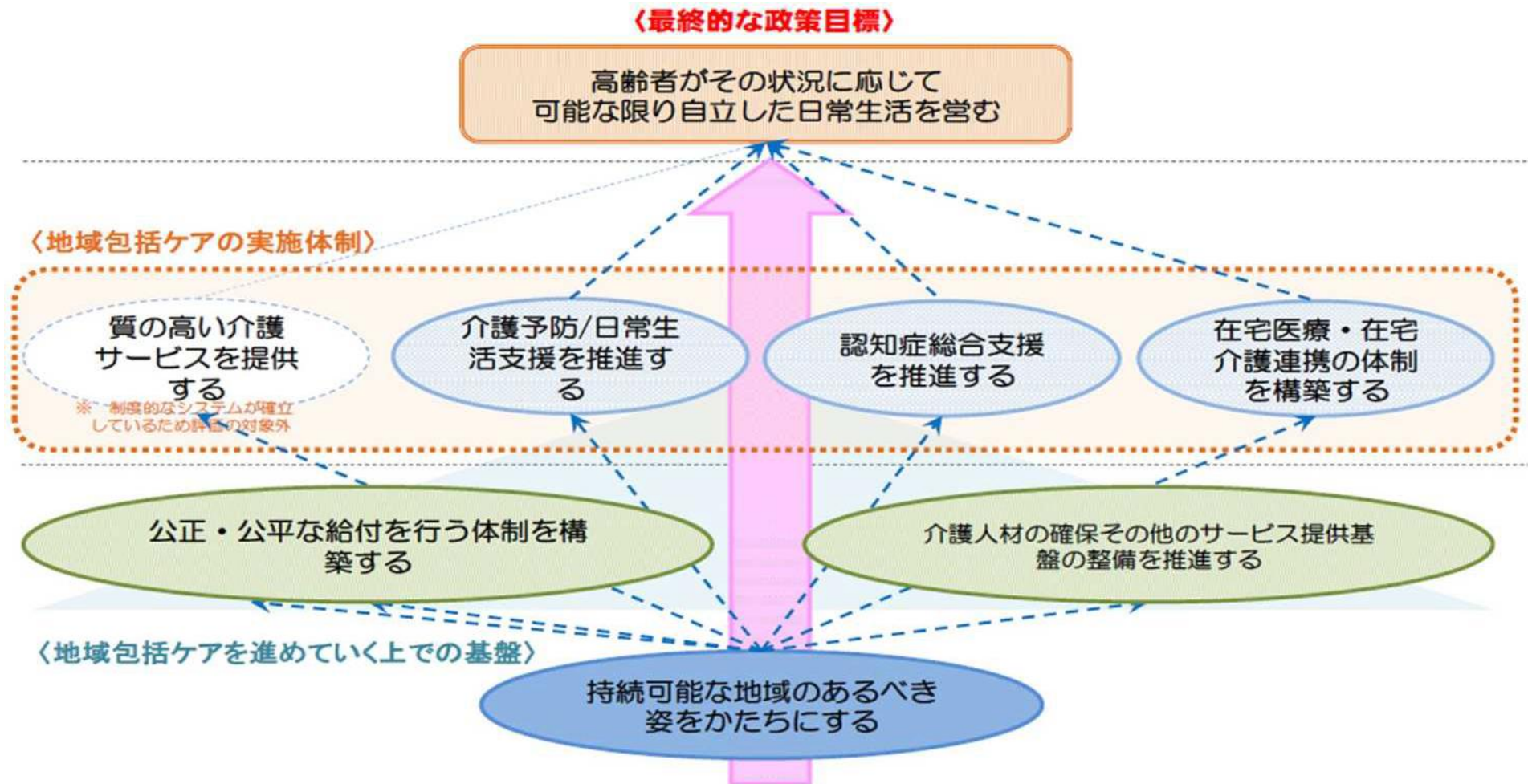
保険サービスの質の確保の視点

【施策 8】感染症・災害対策の強化 P. 56

- (1) 介護サービス事業所に対する感染症・災害対策に関する支援
- (2) 災害等発生時の体制整備

(参考) 国の政策目標と施策の関係

参考) 厚生労働省の政策目標と施策の関係



(参考) 第9期計画で充実させるべき事項

参考) 第9期計画で記載を充実させる事項 (案)

1 介護サービス基盤の計画的な整備

- 中長期的な地域の人口動態や介護ニーズの見込み等を適切に捉えて、施設・サービス種別の変更など既存施設・事業所の在り方も含め検討し、地域の実情に応じて介護サービス基盤を計画的に確保していく必要性
- 医療・介護を効率的かつ効果的に提供する体制の確保、医療・介護の連携強化
- サービス提供事業者を含め、地域の関係者とサービス基盤の整備の在り方を議論することの重要性
- 居宅要介護者の様々な介護ニーズに柔軟に対応できるよう、複合的な在宅サービスの整備を推進することの重要性
- 居宅要介護者の在宅生活を支える定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護など地域密着型サービスの更なる普及

2 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組

- 総合事業の充実化について、第9期計画に集中的に取り組む重要性
- 地域リハビリテーション支援体制の構築の推進
- 認知症高齢者の家族やヤングケアラーを含む家族介護者支援の取組
- 地域包括支援センターの業務負担軽減と質の確保、体制整備等
- 重層の支援体制整備事業などによる障害者福祉や児童福祉など他分野との連携促進
- 認知症試作推進大綱の中間評価を踏まえた施策の推進
- 高齢者虐待防止の一層の推進
- 介護現場の安全性の確保、リスクマネジメントの推進
- 地域共生社会の実現という観点からの住まいと生活の一体的支援の重要性
- 介護事業所間、医療・介護間での連携を円滑に進めるための情報基盤を整備
- 地域包括ケアシステムの構築状況を点検し、結果を第9期計画に反映。国の支援として点検ツールを提供
- 保険者機能強化推進交付金等の実効性を高めるための評価指標等の見直しを踏まえた取組の充実
- 給付適正事業の取組の重点化・内容の充実・見える化、介護給付費の不合理な地域差の改善と給付適正化の一体的な推進

3 地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び介護現場の生産性向上の推進

- ケアマネジメントの質の向上及び人材確保
- ハラスメント対策を含めた働きやすい職場づくりに向けた取組の推進
- 外国人介護人材定着に向けた介護福祉士の国家資格取得支援等の学習環境の整備
- 介護現場の生産性向上に資する様々な支援・施策に総合的に取り組む重要性
- 介護の経営の協働化・大規模化により、サービスの品質を担保しつつ、人材や資源を有効に活用
- 文書負担軽減に向けた具体的な取組(標準様式例の使用の基本原則化、「電子申請・届出システム」利用の原則化)
- 財務状況等の見える化
- 介護認定審査会の簡素化や認定事例の効率化に向けた取組の推進

【基本目標 1】生き生きとその人らしく健やかに暮らせるまち

【目指す姿】生き生きとその人らしく健やかに暮らせる

【必要なこと】

- 高齢者自身が、身体的に健康な状態でいられること
- ① フレイルが進行しない／進行が遅い
- ② 病気や症状が重症化しない／再発しない

【必要なこと】

- 高齢者自身が、精神的・社会的に健康な状態でいられること
- ① やりたいことがある／できている
- ② 人や地域とつながっている
- ③ 何等かの役割を担っている(家庭内／地域)

【施策1】介護予防・健康づくりの推進

- ① 介護予防の推進
- ② 地域リハビリテーション支援体制の構築
- ③ 一般介護予防事業の充実(通いの場の拡充と活用、地域リハ活動支援事業の拡大)
- ④ 短期集中サービス(訪問・通所C)の活用促進
- ⑤ 介護予防と保健事業の一体的推進
- ⑥ 医療と介護の連携強化(再発／重症化予防)
- ⑦ ケアマネジメントの質の向上(医療との連携強化)

【施策2】社会参加の促進

- ① 総合事業の充実(訪問・通所B等の拡充)
- ② 社会参加希望者の発掘・養成とデータベース化
- ③ 地域や他分野(子ども・障害者領域など)の困りごと／支援ニーズの把握と整理
- ④ 地域の困りごと／支援ニーズと社会参加希望者のマッチングの推進(多世代交流、介護助手などの確保も意識して)
- ⑤ ケアプランへのインフォーマル支援の導入促進

【基本目標2】住み慣れた地域で暮らし続けられるまち

【目指す姿】住み慣れた地域で暮らし続けられる

【必要なこと】

- 重度な要介護状態でも、住み慣れた地域(在宅・病院・施設)で暮らすことができる
- ① ニーズに応じた介護保険サービスや地域の支援がある
- ② 医療と介護の連携がとれている
- ③ インフォーマル支援を組み入れたケアプランが策定されている
- ④ 家族の負担／不安が許容範囲に収まっている

【必要なこと】

- 認知症の人でも、住み慣れた地域(在宅・居住系・施設)で暮らすことができる
- ① ニーズに応じた介護保険サービスや地域の支援がある
- ② 医療と介護の連携がとれている
- ③ インフォーマル支援を組み入れたケアプランが策定されている
- ④ 家族の負担／不安が許容範囲に収まっている

【必要なこと】

- 同居ないし別居の家族の負担や不安が許容範囲に収まっている
- ① ニーズに応じた介護保険サービスや地域の支援がある
- ② 家族の負担や不安を軽減できるサービスや支援、制度がある
- ③ ケアマネジャーが、家族の負担や不安を評価した上で、必要なサービスや支援を導入、ないし制度を活用できている

【施策3】在宅医療・介護連携の推進

- ① 在宅医療・介護のサービス拡充
- ② 通院支援の拡充
- ③ 看多機の整備推進
- ④ 入退院／入退所時の連携強化
- ⑤ 看取りの推進
- ⑥ 介護施設と医療の連携強化
- ⑦ リハ・栄養・口腔の一体的提供とケア職との連携強化

【施策4】認知症施策の推進

- ① 生活支援サービスの拡充
- ② 通院支援の拡充
- ③ 看多機の整備推進
- ④ 入退院／入退所時の連携強化
- ⑤ 看取りの推進
- ⑥ 介護施設と医療の連携強化
- ⑦ リハ・栄養・口腔の一体的提供とケア職との連携強化

【施策5】介護者支援策の推進

- ① 相談対応者(ケアマネ、包括等)による家族介護者の負担・不安の評価と支援ニーズの整理
- ② 関係者・関係部署を交えた支援策の検討
- ③ 社会資源の把握とデータベース化
- ④ 相談対応者と社会資源のマッチングの推進

【基本目標3】安心してサービスを受けられるまち

【目指す姿】安心してサービスを受けられる

【必要なこと】

- ニーズに応じたサービスや支援がある／活用できる
- ① ニーズに応じた介護保険サービスや様々な支援がある
- ② インフォーマル支援を組み入れたケアプランが策定されている

【必要なこと】

- 本人の尊厳を重視した上で、意向や価値観に沿ったサービスやケアマネジメントを受けることができる
- ① 本人の意向に沿ったサービスやケアマネジメントが展開されている
- ② 事業所と地域がつながっている
- ③ ケア職と医療職、ケアマネジャーの連携が図られている
- ④ サービスの質が外部から把握できる仕組みになっている

【必要なこと】

- 介護従事者が仕事に満足しながらサービス提供できている／働きやすい環境、直接ケアに専念できる環境にある
- ① 働く環境の改善(職場内外)
- ② 文書作成等の間接業務の負担の軽減
- ③ 間接業務を担う人材の確保と雇用促進

【施策6】多様なサービスの充実

- ① 小多機／看多機等の整備推進
- ② 訪問・通所B等の整備促進
- ③ ボランティアの確保・育成
- ④ 既存のボランティア活動の把握とデータベース化
- ⑤ ボランティアを必要としている団体とボランティア／候補者のマッチングの推進

【施策7】介護サービスの質の向上

- ① ケア職とリハ・栄養・口腔関係の専門職の連携強化
- ② ケアマネジメントの質の向上
- ③ サービス利用者の社会参加の促進(事業所と地域の連携強化)
- ④ 自立支援につながったサービス提供／ケアマネジメントの事例検証
- ⑤ 高齢者への虐待防止の推進
- ⑥ 感染症・災害対策の強化

【施策8】介護人材の確保と生産性向上の推進

- ① 介護助手の養成と事業所とのマッチングの推進
- ② 文書作成の負担軽減策の推進
- ③ 離職防止策の展開(法人内外の環境改善)